



第 6 部 用語集



一 用語集

ア行	
悪性新生物	悪性腫瘍のことでがんとも呼ばれます。組織細胞が何らかの原因で変質して増殖を続け、他の組織との境界に侵食(浸潤)しながら、身体の正常な組織を破壊します。
医療費	医療機関等における保険診療の対象となり得る傷病の治療に要した費用の総額です。被保険者が医療機関等の窓口で負担する額と、保険者が公費で負担する額を合わせた費用の合計額になります。
カ行	
拡張期血圧	心臓が拡張し、血液が心臓に戻ってきたときに血管壁にかかる圧のことをいいます。最低血圧や下の血圧ともいわれています。
がん	組織細胞が何らかの原因で変質して増殖を続け、他の組織との境界に侵食(浸潤)しながら、身体の正常な組織を破壊します。
虚血性心疾患	心臓の筋肉に酸素や栄養を送る冠動脈が、狭くなったり閉塞したりすることで血流障害を起こす病気です。本計画では、狭心症、心筋梗塞を分類しました。
空腹時血糖	空腹時の血液中のブドウ糖の量のことです。食事の内容で数値が左右されるため、空腹の状態で計測します。
継続受診	前年度と当該年度の2年連続で特定健診を受診することです。
血清クレアチニン	筋肉運動のエネルギー源となるクレアチンが代謝されてできた老廃物のことです。腎臓の糸球体で濾過され尿として排泄され、数値が高いと腎機能の低下が示唆されます。
血糖値	血液中のブドウ糖の量のことです。
高血圧	安静状態での血圧が慢性的に正常値よりも高い状態のことです。
股関節症	主な症状は、脚の付け根の関節の痛みと機能障害です。初期は立ち上がりや歩き始めに痛みを感じますが、症状が進行すると痛みが強くなり、場合によっては持続痛や夜間痛に悩まされることになります。
骨粗鬆症	骨の量(骨量)が減って骨が弱くなる病気です。骨粗鬆症になっても痛みはないのが普通ですが、転倒するなど少しのはずみで骨折しやすくなります。
サ行	
サルコペニア	筋肉の量が減少していく老化現象のことです。進行すると立ち上がりや歩行が億劫になり、放置すると歩行困難にもなることから、高齢者の活動能力の低下の大きな原因になっています。
ジェネリック医薬品(後発医薬品)	先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。開発費が大幅に削減できるため、薬の価格を低く抑えることができます。
脂質異常症	血液中の脂肪分が多すぎる、あるいは少なすぎる状態で、高脂血症も脂質異常症に含まれます。血中の中性脂肪やLDLコレステロールが多すぎても、またHDLコレステロールが少なすぎても動脈硬化を引き起こすリスク因子になります。
歯周病	歯と歯ぐきの隙間(歯周ポケット)から侵入した細菌により、歯肉が炎症を引き起こした状態(歯肉炎)と、歯をささえる骨が溶け、グラグラさせてしまう状態(歯周炎)を合わせた病気です。

一 用語集

サ行	
実施率	特定健診の結果で特定保健指導の対象になった人のうち、実施評価を受けた人の割合のことです。 実施率＝特定保健指導終了者÷特定保健指導対象者
疾病分類	WHO(世界保健機関)が作成した、世界中の疾病、傷害及び死因の統計分類(ICD-10)のことです。疾病分類表は大分類、中分類、小分類に分かれ、分類表としての形式を統一しています。
受診率	特定健診の対象者のうち、受診した人の割合のことです。
収縮期血圧	心臓が収縮し、血液が全身に送り出されたときに血管壁にかかる圧のことをいいます。最高血圧や上の血圧ともいわれています。
診療報酬明細書(レセプト)	保険医療機関等が被保険者の診療に要した医療費を保険者に対して請求する明細書です。患者ごとに作成し、各月の診療内容と医療費が記載されています。
人工透析	腎不全等で腎臓の機能が低下し体内の老廃物が除去できなくなった場合に、人工的に血液を浄化する方法です。
腎不全	腎臓の機能が低下する状態で、不要な老廃物や水分が体内にたまり全身にさまざまな症状が現れます。
脊柱管狭窄症	神経の通り道(脊柱管)が狭くなることで神経が圧迫され、痛みやしびれ感、麻痺が生じます。主に、立つ・歩くことにより悪化し、長距離を続けて歩くことが難しくなります。
積極的支援	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い人に対して行われる特定保健指導の一つです。
タ行	
中性脂肪	食事から摂取した栄養のうち、体内でエネルギーとして使われる脂肪のことです。肝臓でも合成され、余った中性脂肪は皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられています。
低体重	正常な健康状態と比べて、体重が少ない状態(BMIが18.5未満)を指します。
動機付け支援	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い人に対して行われる特定保健指導の一つです。
糖尿病	膵臓で作られるインスリンの不足や作用低下により、血糖値の上昇を抑える働きが低下し、高血糖が慢性的に続く状態のことです。
糖尿病性腎症	糖尿病の合併症の一つであり、高血糖状態が長く続くことで腎臓の機能が低下した状態のことです。初期は自覚症状がほとんどなく、進行するとむくみや高血圧がみられ、さらに進行すると腎不全になり人工透析が必要になります。
特定健康診査(特定健診)	40歳から74歳までの被保険者を対象とし、生活習慣病予防のためにメタボリックシンドロームに着目した健康診査です。
特定保健指導	特定健診の結果から生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人に対して、医療専門職が生活習慣を見直すサポートをすることです。リスクと年齢により「動機付け支援」「積極的支援」の2つに分かれます。

一 用語集

ナ行	
尿酸	代謝の結果としてできる燃えかすの一つで尿の一部となって排泄されます。腎臓の機能低下で排泄されなかったり生活習慣の乱れ等で作られすぎると、体内で尿酸が蓄積し痛風等の異常を引き起こします。
尿蛋白	腎臓が正しく機能していないと多量の蛋白質が尿に排泄されます。激しい運動や高熱などによっても尿蛋白が出る場合があるので、一過性のものかどうか見定めが必要になります。
尿潜血	尿に血が混じっている状態で、腎臓、膀胱、尿管などの異常が疑われます。激しい運動や過労によっても尿潜血が出る場合があるので、一過性のものかどうか見定めが必要になります。
脳血管疾患	脳動脈に異常が起きることが原因で起こる病気の総称で、一般に脳卒中といわれます。脳の血管が詰まる脳梗塞や、脳の血管が破れて出血する脳出血、くも膜下出血に大別されます。
ハ行	
ハイリスクアプローチ	疾患が発生しやすいなど、健康上の高いリスクを持った人を対象に絞り込み、そのリスクを下げるように働きかけ疾患を予防する方法です。
膝関節症	主な症状は、膝の痛みと水がたまることです。初期は立ち上がり等の動作の開始時のみ痛みを感じますが、進行すると安静時にも痛みがとれなくなり、歩行が困難になります。高齢者になるほど罹患率は高まり、特に女性に多い症状です。
肥満	脂肪が多く蓄積する部位によって皮下脂肪型肥満と内臓脂肪型肥満に分けられます。BMIが25以上の場合、肥満と判定されます。
標準化死亡比(SMR)	死亡率は年齢によって大きな違いがあることから、異なった年齢構成を持つ地域別の死亡率をそのまま比較することはできないため、人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標のことです。
標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）	糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群の減少、中長期的な医療費の伸びの適正化を図るため、医療保険者が効果的・効果率的な保健指導を実施するよう厚生労働省健康局が作成した健診・保健指導の方向性を示すものです。
フレイル	健康な状態と要介護状態の中間に位置し、加齢により身体機能や認知機能の低下がみられる状態のことです。適切な介入により健康な状態に戻る可能性があります。
平均寿命	「0歳における平均余命」のことを言います。
平均自立期間	健康寿命の1つであり、日常生活が要介護（要介護2以上）ではなく、自立して暮らせる生存期間の平均を指します。
法定報告	国へ報告する特定健診等の実績のことです。報告対象は、国保加入者のうち特定健診等の実施年度中に40～74歳になる人で、当該年度の一年間を通じて加入している方となります。年度途中の加入者や脱退者は含まないため、健診等データの実施者数と法定報告の実施者数に差異が生じます。そのため本計画では、健診等データと法定報告のどちらを使ったのかを明記しております。
ポピュレーションアプローチ	大多数の中に潜在的なリスクを抱えた人たちが存在すると仮定した上で、集団全体へ働きかけ全体としてリスクを下げる方法です。

一 用語集

マ行	
メタボリックシンドローム	肥満(特に内臓脂肪型肥満)に加えて、高血圧、高血糖、脂質異常のうちのいくつかの危険因子を併せ持った状態のことです。内臓脂肪の蓄積により動脈硬化が進行しやすく、心筋梗塞や脳卒中を発症しやすくなります。血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態をメタボリックシンドローム該当者、1つのみ該当する状態をメタボリックシンドローム予備群といいます。
ヤ行	
有所見	特定健診の結果、数値が基準値より高いまたは低い状態のことです。医師の診断で要医療、要精密検査、要指導、要観察等の判定がされます。
有所見率	特定健診を受診した人のうち、有所見者の占める割合を意味します。
要介護認定	介護保険制度において、被保険者が介護を要する状態であることを保険者が認定することです。
ラ行	
利用率	特定健診の結果で特定保健指導の対象になった人のうち特定保健指導を利用した人（初回面接を受けた人）の割合のことです。 利用率＝特定保健指導利用者÷特定保健指導対象者
ロコモティブシンドローム	骨、関節、筋肉などの運動器に障がいがあり、「立つ」「歩く」といった移動機能が低下している状態のことです。
英数行 or A~Z	
BMI	体格指数を表す body mass indexの略称で、肥満や低体重(やせ)の判定に使用します。 $BMI = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$
CKD(慢性腎臓病)	腎臓の機能が慢性的に低下して正常に働かなくなった状態のことです。慢性腎臓病が進行して末期腎不全に至ると、腎臓の機能が極度に低下し、人工透析や腎臓移植が必要になります。
eGFR	推定糸球体濾過値のことで腎臓の糸球体での濾過機能をみる指標です。血清クレアチニン値と年齢、性別から計算されます。
HbA1c	血液中のブドウ糖と結合したヘモグロビンの割合を表します。検査時点から過去1~2か月の平均血糖値を反映し、糖尿病の診断に用いられます。
HDLコレステロール	善玉コレステロールと呼ばれ、余分なコレステロールを肝臓へ戻す働きをします。
ICT	Information and Communication Technology(情報通信技術)の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。
KDB(国保データベース)システム	国保中央会が開発をした国保に関する全国規模のシステムであり、特定健診及びレセプトの統計情報を国・県・同規模保険者と比較しながら確認することができます。集計方法の違いにより、人口等は市公表の統計とは異なります。
LDLコレステロール	悪玉コレステロールと呼ばれ、体内の細胞膜やホルモンなどの材料となるコレステロールを全身へ運ぶ役割があります。数値が高いと動脈硬化を促進させ、心臓病や脳梗塞の原因となります。